東京薬科大学新聞
発行所
東京薬科大学
学生新聞
八王子市堀之内
1432－1
☎0426(76)5111
印刷所　青々社
☎363－9950
号外

学生のための施設拡張か?!

部室棟に自販機を

部室棟の自動販売機設置が実現しそうである。

「クラブの後、ジュースを飲みたくても生協まで行くのはどうもカッタルイ。部室棟にあればいいのに……」学生の間にはかなり以前からこういった声があった。特に、午中便い走りの一年生に根強いものがあったことは、注目に価する。執行委員会も大学に何度となく要求を出していたが実現には至らなかった。

それが今年になってにわかに実現の目途が立って来た。

ささいなこととはいえ、我々の声が受け入れられつつあることは喜ばしい限りである。しかし、現時点ではまだ多くの問題が山積している。第一点は、費用。二点、設置場所。三、管理運営。四、ゴミの始末、そして一番身近で、切実な、飲み物の種類の問題などである。設置に関する公式文書は未提出の段階だから、我々の意見を十分盛り込んだ方向で実現するよう、世論を盛りさげてゆきたいものだ。

体育 すこあーぶっく

薬連　軟式庭球大会
五月二十二日
千葉県自子サンテニス
一当賞　東北薬科大学
二当賞　東京薬科大学
三当賞　明治薬大、世田谷、国無

倉庫増設の行方

現在部室棟には、倉庫として使用されている部室が三室ある。しかしその管理状態は、決していいものではなく、三階にある倉庫は、運搬の際に大変不便で利用しにくいものであった。

また、ここ数年来の同好会数の増加により、以前から、部室の要求が、執行委員会の方に出ていた。

東薬祭の際に、コミュニティー企画などで使われる大道具類は、薬祭委員の手によって一ヶ月余の時間と多額の費用をかけて作られるわけだが、その作業場は、いつも会議室だった。そのため、作業もしづらく、また会議室を本来の目的で使用することができない状態だった。

また、クラブで作成した屋台などの道具類も、薬祭が終われば、保管する場所がないために毎年壊すしかない状態だった。

以上の様な理由から、東薬祭運営委員会としても、作業場として使用できる様な倉庫を要求していた。

これらの要求に、大学側は一つの倉庫を設置する様だ。

一つは体育館と部室棟の間にあるもので、これは部室棟の整理の目的で使用されるものである。

もう一つは、校庭の東南にあるもので、これはローラーと励起板を入れるためのもので、以前から体育教官の方から、要求が出ていたものだそうだ。

また薬草園の道具類を入れるものなどすでに、薬草園の中にできている。

尚、東薬祭の倉庫も近日中に届くそうだ。

執行委員会の話では、これを機会に部室棟の整理を行ないたいとのことで、部室棟の倉庫は部室として使用できるようになるもようである。

東薬祭運営委員会も、倉庫、作業場として利用していくそうですが、参加団体の模擬店の管理については、数が多いこともあり、現在検討中とのことです。

倉庫の管理や使用について、まだ検討しなくてはならないこともあるようですが、学生のために、有意義に使用できるようにしていってほしいものです。

選挙のお知らせ

五月二十六日、二十七日の両日、自治会執行委員長、副執行委員長の選挙が行なわれる。今年度は、信任投票となった。

執行委員長候補
山縣昌彦

常に学生の立場の要求や課題を取り上げ、その実現のために努力し、東薬独自の判断に基づく東薬独自の学生自治会活動を展開して行きたいと考えています。

副執行委員長候補
谷中敏昭

執行委員長の補佐としての役割を務めながら、会員の声が繁栄される、即ち会員の積極的参加のある自治会になるように努めていきたい。

同候補
和田英代

執行委員長を助け、他の執行委員をうまくまとめながら、よりよき自治会をめざしてがんばりたいと思います。